

県南の現状

若年層の流出や高齢化の進行による地域担い手の減少。特に、全域が過疎・中山間地域である東白川郡が顕著。

- 人口減少率 ② → ④ : (県南地方全体) Δ9.6% (東白川郡) Δ18.1%
- 高齢化率 ② → ④ : (県南地方全体) 32.0% (②23.8%) (東白川郡) 37.9% (②28.9%)
- 観光客入込客数 ③① - ②②: (県南地方全体) 17千人 (東白川郡) Δ234千人

- 東白川郡における観光客入込客数 1,400千人 ※H22(1390千人)×1.0
- 県南地域への定住・二地域居住者数 171世帯 ※H22(7世帯)×24.4  
(県南地域移住者数H22:7世帯 ⇒ R3:162世帯 約23.1倍)

令和5年度事業の展開 ~持続可能な里山社会の実現~ 予算総額 136,975千円

令和4年度取組・成果

地域資源を活用した交流人口拡大

- 1 ひがししらかわ魅力発信事業**
  - 東白川郡の魅力的な施設や産品、飲食店などの地域資源について、近隣地域や隣接県の住民へ情報発信し、交流人口を拡大 (R4テーマ: サウナと健康食)
- 2 「しらかわスタイル」地域の魅力発信事業**
  - 発掘した地域のプレイヤーの魅力を情報発信し、現地と首都圏で交流会を開催
  - R4は白河市東地区の日本酒、矢祭町の野菜に着目
- 3 しらかわインバウンド観光スタートアップ事業**
  - 日本に関心を持つ外国人(主に台湾)へ動画を活用して情報発信
- 4 「しらかわスタイル」マイクロツーリズム推進事業**
  - 新たな観光資源として注目される「狛犬」に焦点を当て、ご当地ヒーローや大堀相馬焼窯元の協力を得て、県内外の小学生向けイベントを開催
- 5 ひがししらかわ地域間交流・地域づくり促進事業**
  - 県土連携軸国道289号、鮎川村渡瀬BP等を重点的に整備
  - 矢祭山周辺環境整備、埴町上石井地区久慈川環境整備による交流人口の拡大
- 6 しらかわ地域農林業資源活用事業**
  - 首都圏の消費者や学校による農林業体験の受入れ支援、グリーン・ツーリズム受入側の研修、農業体験メニュー表の作成
  - 6次化商品のPR活動や、各事業者向けの研修を実施(28事業者参加)
- 7 しらかわ地域づくり活動促進事業**
  - サポート事業や地域おこし協力隊の成果共有を行う元気づくり交流会を開催



狛犬イベント



6次化商品の販売会



元気づくり交流会

課題

○ 新たな視点による地域資源の発掘や、地域との連携による交流人口の拡大

定住・二地域居住の推進

- 8 「しらかわスタイル」地域体験創出事業**
  - 関係人口創出と産業人材確保を課題としている地域づくり団体(白河商工会議所)と連携し、ワーケーション体験ツアーや企業見学ツアーを実施
- 9 しらかわスタイル 定住・二地域居住推進事業**
  - 県南地方定住・二地域居住相談所「ラクラスしらかわ」移住相談件数(118件、12月末時点)
  - 県南地方への移住実績(100世帯、12月末時点)
  - 首都圏やオンラインでのセミナー開催(2回)



ワーケーション体験ツアー

○ 移住に係る多様なニーズへの対応

次代を担う若者の定着・還流

- 10 “ひがししらかわ” 輝くふる郷体験事業**
  - 農業や地域産業、伝統文化等の体験活動を実施(8小学校・約950名)
- 11 “ひがししらかわ” 未来の医療を守る人材育成事業**
  - 地域医療の現場視察や医療従事者との懇談会などの地域医療体験研修を実施(9月: 福島県立医科大学3年生16名参加)
  - 県立医大とタイアップし、医大生が家庭を訪問し地域住民の生活や健康課題について知るための体験実習を実施(11~12月(計3回): 福島県立医科大学3年生10名が棚倉町の家庭を訪問)
- 12 “ひがししらかわ” 建設人材育成事業**
  - 小学生を対象とした建設現場見学会を実施(鮎川小、埴小、矢祭小 計123名)
  - 小中学生を対象とした防災出前講座を実施(笹原小、矢祭小、鮎川中 計238名)



組子細工体験



建設現場見学会

○ 地域ニーズに合った人材の確保  
○ 地域づくりや産業振興を担う地域の担い手の育成

【人と地域】地域資源を活用した交流人口拡大

- 1 ひがししらかわ魅力発信事業(継続) ★ 1,853千円**
  - 東白川郡に眠る地域資源を斬新な視点で切り出し、近隣地域や隣接県へ情報発信し誘客促進
  - 首都圏等に向けての観光PR及び産品の販路拡大
- 2 「しらかわスタイル」マイクロツーリズム推進事業(継続) 4,961千円**
  - 「狛犬」をメインコンテンツとして、ご当地ヒーロー出演のPR動画制作や、イラストコンテスト等を実施するとともに、地域の飲食店も巻き込みながら、しらかわ地域への誘客を図る
  - 全国から注目を浴びている「白河の関」をフックに、しらかわ地域への周遊を促進
- 3 ひがししらかわ地域間交流・地域づくり促進事業(継続) 105,000千円**
  - 県土連携軸の国道289号等について、江竜田工区等の事業化を推進し、地域間交流を促進
  - 埴町上石井地区久慈川環境整備による交流人口の拡大
- 4 しらかわ地域農林業資源活用事業(継続) ★ 987千円**
  - 首都圏の学校等による農林業体験の受入れ支援、グリーン・ツーリズム受入側の研修を実施
  - 地域の特産品を活用した6次化商品のPR活動や、各事業者向けの研修を実施
- 5 しらかわ地域づくり活動促進事業(継続) ★ 34千円**
  - サポート事業や関連事業等の効果的な事業執行を図るため成果共有を行う交流会を開催

【くらし】定住・二地域居住の推進

- 6 首都圏からの移住推進&就職先マッチング支援事業(新規) 15,000千円**  
~しらかわへ移住! 家族も仕事を見つけて幸せ100倍~
  - コロナ禍と多様な働き方の広がりや背景に地方移住の関心が高まり、テレワークやワーケーション等の関係人口の増加や、転職なき移住をはじめとした移住の形態も多様化
  - 転職なき移住者の配偶者等が地域で働く場を提供することで、移住者本人だけでなく一緒に移住する家族の多様なニーズの受け皿となり、より多くの移住者の獲得につながる
  - 多様な働き方を推進する企業への支援を行うことで、求職者と企業のニーズをマッチングさせ、県南地域への転職なき移住と配偶者等の就職により移住者の増加を図る。
- 7 しらかわスタイル 定住・二地域居住推進事業(継続) 4,507千円**
  - しらかわ地域への転職なき移住相談窓口を設置
  - 首都圏等での相談会、オンラインセミナー等の実施

【こども】次代を担う若者の定着・還流

- 8 “ひがししらかわ” 輝くふる郷体験事業(継続) ★ 1,721千円**
  - 子どもたちが生まれ育った地域のよさを知り、郷土を愛する心を持って、地域の将来を支えていく担い手となるよう、農業や地域行事、伝統文化等の体験活動及び交流活動を実施
- 9 “ひがししらかわ” 未来の医療を守る人材育成支援事業(継続) 2,312千円(うち★ 805千円)**
  - 地域医療の担い手育成のため、県立医大とタイアップした医学生の体験型実習と地域医療の現場視察や地域住民との交流などの地域医療体験研修を開催
  - 小学生のうちから東白川郡の医療の実情を知り、関心を高めてもらうため、医療や介護の現場での体験を交えた親子学習会を、感染症対策を講じて開催(病院見学会が不可の場合、看護学校提携、消防署提携、保健所職員講義等を代替案として開催)
- 10 “ひがししらかわ” 建設人材育成事業(継続) ★ 600千円**
  - 地域の子どもたちに建設業に対する興味や関心を高めるとともに、将来の建設業を担う人材を育成するため、小中学生を対象とした建設現場見学会・防災出前講座を開催

※ ★印は県単各事業(過疎・中山間地域振興事業)の予算を使用するもの(計6,000千円)